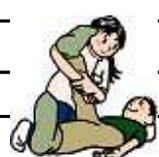


大腿骨頸部骨折の手術を受けられる方へ

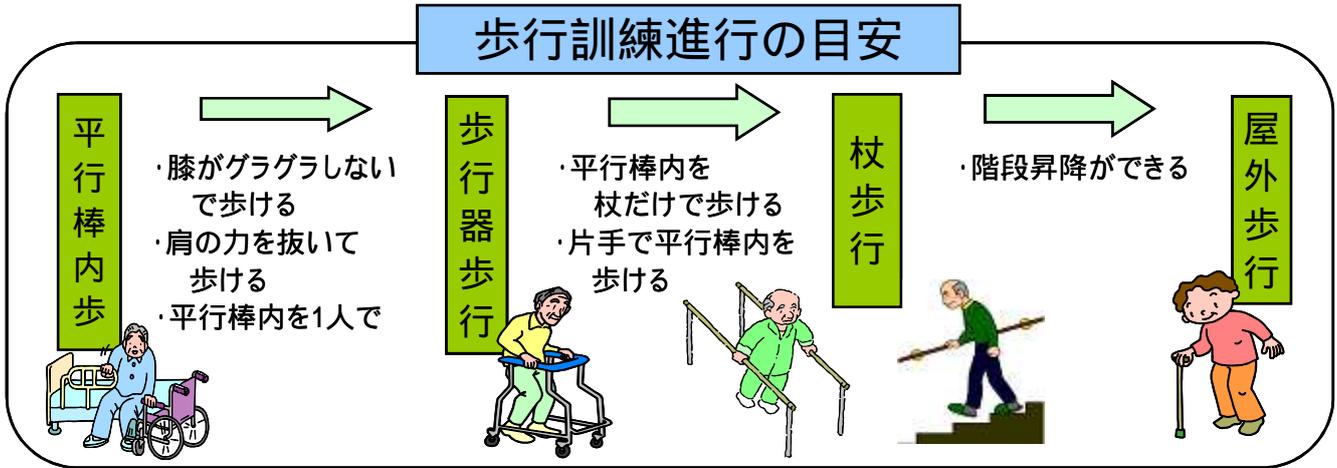
済生会横浜市南部病院と回復期リハビリテーション病院では、**患者さんにとってそれぞれの病院で専門的な治療をお受けになることが最大のメリット**と考え、済生会横浜市南部病院(急性期病院)では主に「**手術**」を、回復期リハビリテーション病院では主に「**リハビリテーション**」を担当し、**病院が変わっても一貫した切れ目のない医療を患者様に提供できるように地域連携クリニカルパスを活用した医療連携体制**をとっております。ご理解

『治療の流れ』 **手術** → **リハビリテーション** → **退院**

* 手術後に特別な合併症が無ければ2～3週で転院となります。手術当日にケースワーカーと転院に向けての面談があります。転院後は退院に向けてより専門的なリハビリを継続していきます。

経過	入院 手術	転院(術後2～3週間後)	リハビリテーション	退院
リハビリ		関節を動かす訓練 筋力訓練 歩行訓練 日常生活活動		
入浴	抜糸後キズの状態が良ければシャワー浴又は入浴が可能です			
検査	必要時 レントゲン検査と血液検査を行います			
説明訪問	入院時指導	面談 自宅での生活が目標の方 (必要に応じて家屋訪問調査・家屋改修指導・試験外泊)		

『リハビリ』 **車イス 起立 伝い歩き 歩行器 杖・独歩**



『日常生活、生活の場』

- * 実生活そのものがリハビリとなります。
- * 看護師、リハビリスタッフと一緒に練習してきた事を生活の場を通して実践していきましょう。

- 1) **布団の上、畳の縁、廊下、浴室**などは転倒し易いので注意しましょう。
- 2) 階段の昇りは**良い方の足**から、降りは**悪い方の足**から一段ずつ始めた方が楽です。



必要に応じて家屋改修(自宅での生活が目標の方)

- * 家屋環境のチェックが必要となります。
- * 家屋改修の内容は各個人個人、状況によって異なります。
- * リハビリ科スタッフが家に伺い、必要箇所については改修を勧める事があります。



詳しくはリハビリ科スタッフへ

担当医(説明医): _____

上記の内容について説明を受けました。

看護師: _____

患者又は家族等 _____